

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年 11月 25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	太陽工業株式会社
所在地	〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-33-16
代表者役職・氏名	国土事業本部長 山本 正人
担当者連絡先	電話：090-9140-1702
	メール：mr004134@mb.taiyokogyo.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.taiyokogyo.co.jp/company.html

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1922年に創業した土木資材のメーカーであり、「膜」素材の特徴を生かした、人、社会や環境に優しい製品の創出に取り組んでいる。創業以来培ってきた膜の技術を生かした汚濁防止膜の開発に加え、港湾用遮水シート、防砂シート等の土木シートなどの港湾資材の設計、製造および新技術開発も同時に取り組んでいる。また、災害時における天幕等資機材であるエアータントの供給や災害復旧での土木資材の設計など、「膜」によって人々が安心して生活できる国土を築き上げることを目標に日々活動をしている。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	年次有給休暇取得の促進	有給取得率 80%以上 (2023年実績 59%)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ハイブリッド車導入の促進	ハイブリッド車導入 90%以上 (2023年実績 75%)
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

(次項へ続く)

### SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント委員会の設置、社内通報窓口の設置				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	社内労働組合の設置 36協定の遵守 長時間労働者に対する産業医面談の実施、就業制限への対応							8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・専門部署、体制の整備「安全管理室」の設置 ・毎朝の朝礼、KY活動の実施 ・現場災害情報の共有 ・毎朝のラジオ体操の実施 ・安全大会の実施 ・TSM認定制度の設置			3				8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・外部相談窓口 EAP制度の導入 ・労働安全衛生法第66条の10の規定に基づくストレスチェック制度の実施 ・高ストレス者に対する産業医面談の実施 ・膜構造環境による健康促進の研究			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な働き方に対応したテレワークの推進 ・時差出勤制度の導入					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・Eラーニング制度の導入 ・資格取得奨励金制度 ・資格取得に係る受講料・交通費等の会社負担			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・就業規則での明記				5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・社内独自の福祉制度の確立 ・インフルエンザ予防接種 受診費用負担 ・生活習慣病健診、人間ドック 受診費用一部負担 ・健康診断 受診費用負担 ・衛生委員会の設置 ・感染症拡大防止ガイドラインの制定 ・労務管理研修			3				8										
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・ライフサイクル全体で環境負荷を軽減し、使用済製品を有効な資源として回収・リサイクルの仕組みを整備(広域認定第227号)										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9		6.3						11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ ライフサイクル全体で環境負荷を軽減し、使用済製品を有効な資源として回収・リサイクルの仕組みを整備(広域認定第227号)						6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 自社ホームページでの環境方針、取組み事例の開示											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ 透光性のある膜材料による屋根を活用した電気使用量を削減 ・ 光触媒膜を活用する事による温室効果ガス削減 ・ リサイクル原料を使用した製品の活用											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ 品質保証委員会の設置			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 「ISO9001」の取得、「ISO/IEC17025」の取得 ・ 専門部署「品質保証室」の設置、体制の整備															9		
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 光触媒技術を活用した建築物の開発/設計 ・ 繰り返し使用可能なフレコンバックの開発/設計 ・ 港湾工事の際に発生する懸濁物質の拡散対策を目的とした汚濁防止膜の開発/設計 ・ 廃棄物から発生する浸出水の拡散を防止する最終処分場や土壌汚染対策に使用される遮水工の開発/設計						6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 企業スローガン“環境改善貢献企業” ・ 施設天井の崩落対策を目的とした、軽量で耐震性の高い膜天井 ・ 繰り返し使用可能なフレコンバック ・ 港湾工事の際に発生する懸濁物質の拡散対策を目的として汚濁防止膜 ・ 感染症対策を目的としたエアータント ・ 省力化・省人化に向けた技術開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 2024年時点で62の自治体との災害協定を締結 ・ 国交省主催の水防演習への参加 ・ 国内外の災害支援における資材の提供				4						9	11	12	14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 地域清掃活動の実施				4							11		14	15		17	
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9	11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・当社ホームページにて記載								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・コンプライアンス規定による明記																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・専門部署(法務部)の設置 ・コンプライアンス委員会の設置、体制の整備																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・コンプライアンス規定による明記																16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・コンプライアンス規定による明記																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・コンプライアンス規定による明記																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	事故:事故速報を即日全社共有し、事象ごとに再発防止を都度策定 災害:社内にて発災時連絡体制や初動などのマニュアルを策定									9		11		13			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	次世代を担う若手を対象とした研修を隔月で実施								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

**【記載留意事項】**

- 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- 列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。